

かわち笑顔プロジェクト

医療や福祉を支えていただいている方へ
感謝の気持ちと祈りを込めて黄ぶなの折紙を折ろう

地域の子どもたち・保護者の皆様へ

大人も子どももみんなが不安な気持ちになるなか、心が温まることをしてみませんか？
皆さんの思いを黄ぶな折紙に込めて医療・福祉に係る施設に贈りたいとおもいます。

◆中学生のみなさんへ 祈りを込めて折ったものは BOX へ入れてください。

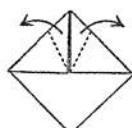
◆小学生のみなさんへ 折り方が難しいのでお家の人と一緒に折って飾ってください。

お 折り方は youtube でも紹介されています。

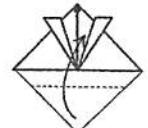
「黄ぶなの」折り方
(折り方は伝承折り紙の全般と同じです)
※ハサミ使用時はご注意ください

猫の中に願い事を書いて
番号順に折っていく
『早く治りますように』

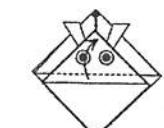
⑥⑦左右に開く



⑧目玉の面を折り上げる



⑨点線で折る

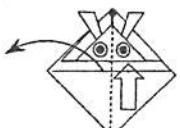


④⑤両端を上へ折返し

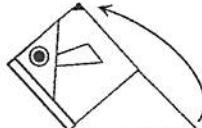


折りやすいよう
180°回して

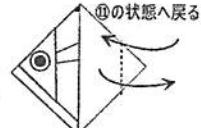
⑩中に指を入れて開き



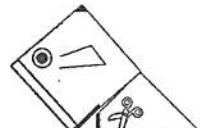
⑪尾びれの先を頭に合わせる



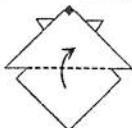
⑫右端を中心まで折り



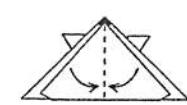
⑬太線の位置をハサミで切り



⑭尾びれを広げ折り込む



⑮お腹を膨らませながら
尾びれを閉じる



⑯お腹を内側へ折り込む



尾びれを整えてできあがり！



「折り紙黄ぶな」の折り方は
下記にも紹介されています

検索 宇都宮の歴史と文化財
イラスト集

折り方図はコチラ



黄ぶなの
伝説

昔、天然痘という病気が大流行し、村人は一生けん命お祈りをしました。ある日ひとりの村人が病気の人たべたら病気が治りました。このことから、黄ぶなを食べてもらおうと、田川で魚釣りをしたところ黄魚が不思議な鮒をつりあげました。村人はその鮒をたべたら病気が治りました。このことから、黄ぶなをしたものを新年に備え無病息災を願うようになりました。

保護者の方へ
お子様がはさみを使うとき、お家の方は注意してあげてください。

「折り紙黄ぶな」の利益金は宇都宮社会福祉協議会ぎんなん募金や東日本大震災義援金など、社会のために役立てられています。

この「折り紙黄ぶな」は著作権及び関係者の許可を得て作られています。



河内地区まちづくり協議会